

第9期 東久留米市地域産業推進協議会
第3回会議録

- 1 日 時 令和7年12月18日(木) 午後6時00分～午後7時10分
- 2 会 場 東久留米市役所 7階 703会議室
- 3 出席者等 (敬称略・五十音順)

赤星 良平	荒 昌史	榎本 義樹	陰山 ひとみ	工藤 真知子	齋藤 真理
塩野 麻里	篠宮 晴彦	土田 健太郎	野崎 林太郎	細田 真之介	

欠席：小山委員

4 議 事

1 開 会

2 会長あいさつ

3 各企画振興事業部会の活動状況報告

- (1) ローカルクリエイションラボ
- (2) スタートアップラボ
- (3) 統括連絡部会

4 報告事項

- (1) 各部会から
- (2) 各委員から
- (3) 事務局から

5 閉 会

1 開 会

【飯田産業政策課長】

ただいまから第9期第3回地域産業推進協議会を開催する。

はじめに、本日の配付資料を確認させていただく。

【事務局】

(配付資料の確認)

2 会長あいさつ

【赤星会長】

年末で忙しいところ、会議に参加いただき感謝申し上げます。本日の会議では各部会の進捗状況に関する情報共有がメインとなる。事務局も多忙であるかと思うが、事業の実施にあたり、具体的に事業内容を決める等そろそろスピードを上げていく必要がある。来年度での事業実施に繋げられるよう年度内に事業内容を詰めていければと思うので、本会議での積極的な発言も含めてご協力お願いしたい。

3 各企画振興事業部会の活動状況報告

(1) ローカルクリエイションラボ

■ 概要

- ・第3回を10月3日、第4回を12月10日に実施した。
- ・委員から提案があった事業の絞り込みを行い、実施する事業を決める形となった。
- ・事業の絞り込みの結果、ローカル映画上映会を実施することに決まった。絞り込みする上では、実施の容易性や、公共空間の活用、事業を継承してもらえる担い手が現れやすいかどうかという観点を重視した。
- ・上映する作品や、いつどこでどのように実施するかについては今後の部会で決定する。

■ 意見、補足、質疑及び回答

【土田委員】

ローカル映画上映会について、個人的には野外の夏に実施したいと思っている。できれば市内の公園で実施したいが、法令やコンプライス、実施時の騒音対策も考慮する必要がある。また、映画を上映する上での制約や、権利上の観点からどの映画であれば上映可能なのかという部分もまだ整理できていない。映画の上映会が問題なく実施できたら、ジャズフェス等の委員から提案のあった他の事業も実施したい。

【荒委員】

資料では映画上映会の発案者が自分となっているが、これは、駅前を中心とした賑わい創出や市内の文化的取組が少ないことを部会内でディスカッションした中で出たアイデアである。各委員から出たアイデアの中には文化的な取組もあるが、地産協で今まで

実施していない事業であることや、実施の容易性という観点から映画上映会を提案した。上映会にマルシェを絡めるかどうかはこれから決めていきたい。

【陰山委員】

夏の野外で映画上映会を実施すると蚊が多くなるのが懸念点である。

【細田委員】

上映場所だが、下里小学校跡地や学校、公園でも可能か。

【事務局】

部会内では映画上映会をどちらかといえば野外で実施するイメージで進んでおり、野外で実施する場合の問題点を整理する方針が決まった段階で第4回の部会が終わった。

【荒委員】

野外での実施だとマルシェを実施しやすい。また、篠宮委員から提案のあった東久留米らしさ、農的な風景、自然的なものを重視する観点からすれば自由学園での実施がよいと思う。

【土田委員】

野外での実施だと通りすがりの人も興味を持ってくれる。入場料も無料にしたい。

【野崎副会長】

映画上映会をするにあたり専門の設備が必要となるが、この設備について専門家や業者に委託する形となるか。

【土田委員】

事業者に関しては現在調べているところである。清瀬市内で実施された「人生フルーツ上映会 in 清瀬」では、著作権を持つ会社から上映権を購入して上映していた。会場が市の公共施設だったため、上映設備は施設にあるものを活用していたようである。

【事務局】

市内だと、市民プラザホールのプロジェクターがあるが、このプロジェクターが映画の上映向きかどうかは調査中である。まろにえホールや西部地域センターには200人程度収容可能なホールがあるが、これらが映画の上映に使用可能であるかも調査中である。また、野外として公園で実施する場合、使用許可の兼ね合いでキッチンカーの設置に制限があるかもしれない旨も懸念点として部会内で話題に上がった。

【細田委員】

野外での映画上映の事例だと「ねぶくろシネマ」がある。「ねぶくろシネマ」では橋の橋脚部分であるコンクリートの柱に投影して実施している事例もあるので、大きな壁がある場所であればスクリーン分の費用は削減できるかと思う。ただ、一般のプロジェクターでは投影するのは難しいかもしれない。

【荒委員】

上映会を実施するにもコストがかかってしまうので、入場料を無料で実施するのは難しいかもしれない。

【事務局】

上映するにも技術が必要なので予算は必要になるかと思う。著作権が放棄されている映画であれば上映権の費用は削減できるかと思う。

【篠宮委員】

著作権が放棄されたあまり知られていない映画を実施しても、来場者が訪れなければ実施する意味がないように思える。

【陰山委員】

上映する映画については市に関係するものがよいかと思う。映画の制作者が市の出身、映画の舞台が市内である等の関係でもよい。

【土田委員】

市に関係するものだと「河童のクゥと夏休み」がある。

【榎本委員】

上映会を実施するにあたり、ファミリー層や映画マニア層等の、ターゲット層を決めているか。

【土田委員】

文化的なイベントにしたいので、どちらかといえば映画マニアを対象として実施したい。映画マニアを対象とすることで、市内の文化的な人々を発掘することも狙える。

(2) スタートアップラボ

■ 概要

- ・第2回を10月16日に開催した。
- ・創業支援をテーマとして第8期の新産業創出推進事業部会を活動してきたが、市内における起業家数についてはまだまだ物足りなさがある。
- ・一方で、空き店舗や空き家といった地域課題もあるため、創業支援と合わせて同時解決を図りたい。しかし、行政単独での解決は難しいので、官民が連携している地産協の取組として解決していきたい。
- ・このような同時解決の先事例を、株式会社まめくらしの代表である青木氏が実施しているため、青木氏を講師とした講演会を開催する。どのようなテーマとするかについては現在部会内で協議中である。

■ 意見、補足、質疑及び回答

【細田委員】

青木氏は、草加市が実施する「リノベーションスクール」の講師を務めた経験がある。「リノベーションスクール」は、創業希望者を募り、講師からアドバイスを受けながら創業希望者がまちの空き家や空き店舗等を活用した事業計画を作り上げるワークショップである。当部会が実施しようとする事業と趣旨が合致しているため、青木氏の名前を自分から出させてもらった。青木氏は「池袋リビンググループ」等様々な活動をしているため、講演会は有意義なものとなるかと思う。

【野崎副会長】

「池袋リビンググループ」は池袋東口グリーン大通りをメイン会場とした大規模マルシェである。自分もこのイベントに訪れ、青木氏に講演会のことをお話ししたところ、細田委員が既に青木氏とコンタクトしている旨伺った。講演会の内容を詰めつつ、細田委員を通じて講演会を実施できればと思う。

【篠宮委員】

この講演会は誰を対象とするか。また、講師は青木氏のみとなるか。

【榎本委員】

講演会の対象は地産協の委員となる。また、青木氏以外の講師に関してはまだ未確定である。講師を招く場合は地産協側から声掛けを行う。

地産協といえばナイトマルシェのイメージが強いが、イベントを実施するだけでなく市の税収を増やす仕組みづくりも議論しなければならない。この議論を進めていく上で、税収を増やすためにどのような手段があるか、また、それが当市で実施可能な手段であるかについて整理が必要である。そこで、地域課題の解決経験がある青木氏にお話しを伺いたいと思っている。この講演会を通じて、当部会だけでなくローカルクリエイションラボにおいても市ならではの取組内容を模索できればと思う。

【野崎副会長】

榎本委員の発言を補足させていただく。第8期の新産業創出推進事業部会において、創業支援イベントを#0（シャープゼロ）として実施しており、第9期においては#1を実施するという目的がある。#1への飛躍にあたり、地産協に創業支援の知識とノウハウが十分でないことが課題であると考え、有識者の意見を取り入れることを目的として講演会の案が出た。講演会の趣旨としては空き家・空き店舗の活用及び創業支援に対する勉強会であるが、ローカルクリエイションラボの取組内容に関してアドバイスをもらうこともローカルクリエイションラボ側の学びになるということで地産協全体を対象とした。また、青木氏が「池袋リビンググループ」という大規模なマルシェを実施しているため、ナイトマルシェを今後どのように発展していくかという点も学べるかと思う。

【土田委員】

市の課題と青木氏の課題意識は共通しているが、青木氏の事業と全く同じ形にならないよう、独自性を持ちつつ実施できればと思う。

【赤星会長】

今年度内に青木氏の講演会を実施し、来年度に空き家・空き店舗を活用した創業イベント#1を実施するというスケジュールでよろしいか。

【事務局】

承知した。イベントのブランディングに関し、講演会前にある程度固めるかどうかについては今後部会内で整理していく。

【赤星会長】

来年度は地産協の報告書をまとめる作業もあるため、早めの実施をお願いしたい。

(3) 統括連絡部会

■ 概要

- ・ 8月7日開催の第1回以降、部会を開催していない。第2回を1月に実施予定である。
- ・ 第1回で決定した通り、はしチョコを地域資源の情報発信の場として存続させた。
- ・ 地域資源に関する情報発信のプロセスに関しては、発信する情報等をL o G oチャットで委員から募り、榎本委員及び齋藤委員が発信する形を確立した。
- ・ 元来、はしチョコは地産協の取組をPRするツールであるので、各部会の取組をどのようなプロセスを踏んで発信していくかについて議論する必要がある。

■ 意見、補足、質疑及び回答

【赤星会長】

事務局から説明があった通り、1月に実施する第2回の部会ではしチョコの発信の仕方を議論していきたい。また、L o G oチャット内で共有される地域資源の情報がまだまだ少ないので、もっと活発に情報を上げていただければと思う。

【榎本委員】

L o G oチャット内でアップロードされた画像が委員側だとダウンロードができない等、L o G oチャットに使いづらさを感じる。

【事務局】

市職員が操作するL G W A N環境下では画像等のダウンロード可能であるが、委員側が操作するインターネット環境下ではセキュリティの関係上ダウンロードできない。そのため、当面の間は事務局が画像等を委員に転送する運用で対応する。この件に関して課題に感じている旨をL o G oチャットの所管課にも共有している。他にも使いづらさを感じる事があれば事務局に共有いただければと思う。

【榎本委員】

委員の方々に、はしチョコのアカウントをフォローしていない方がいればフォローしていただければと思う。

現行は自分と齋藤委員が情報発信を行っているが、他にも発信していただける委員が出てきてもらえるとありがたい。いきなり情報発信をすることは難しいかと思うので、その際は自分や齋藤委員に連絡いただければと思う。

また、はしチョコに投稿するための地域資源情報が不足しているので、委員の身近にあった出来事でも構わないので共有してもらえればと思う。

【齋藤委員】

るるめちゃんが動いているシーンの素材があればるるめちゃんの日常的な動画を作成できる。はしチョコの投稿頻度が少ないとシャドウバンされてしまうので、地域資源情報のつなぎとして、るるめちゃんの動画を投稿したい。そのため、るるめちゃんの着ぐるみを撮影できる機会が欲しい。

【荒委員】

L o G oチャットへの情報提供について、各委員の本業に関する情報も共有してよいか。各委員の本業の中には地域のために行う活動もあるかと思う。また、委員以外の者が行っている活動に関しては市が把握していたり他で発信していたりと思うので、各委員の本業に関する情報もL o G oチャット内で共有していれば活発になるかと思う。

【榎本委員】

本業に関する情報でも構わない。今までもブルーベリーの摘み取りが始まったことを告知したことがある。はしチョコのフォロワーは各委員のフォロワーと重なる部分も多いが、投稿を見る回数が増えるので宣伝効果はあるかと思う。

【野崎副会長】

本業に関することでもL o G oチャットで共有いただき、その内容で投稿してよいかを事務局に判断してもらう形がよいと思う。過去にも、自分の農園に関する内容を他の者が写真を撮ってはしチョコでPRする事例があったので、事業の主催者以外の者がはしチョコで発信するやり方がよいかと思った。

【篠宮委員】

店舗の新規開店情報をL o G oチャットに共有してもよいか。

【榎本委員】

はしチョコは市が直接運営しているアカウントでないため店舗の情報でも構わない。飲食店のことを発信する際は、食べ物の味に関する感想を言わず、何を買ったかについてのみの投稿するようにはしている。ただ、委員の本業に関することも発信していくと、食べ物関係の内容ばかりになってしまうのが気がりである。

【篠宮委員】

現在は発信する情報量が少ないので、ジャンルに偏りがあっても量が多い方がよいかと思う。

【細田委員】

情報発信をするツールを知らないために情報発信できない店舗もあるかと思うので、情報発信をしたいと思う店舗を募り、はしチョコが代わりに情報発信をするのはどうか。

【陰山委員】

情報発信を希望する店舗を募った場合、誰がその店舗に取材しに行くかが課題になるかと思う。

【細田委員】

店舗側から情報や写真をもらうやり方はどうか。

【榎本委員】

普段からSNSでの情報発信に慣れをしていないと、提供される写真の見栄えが良くない傾向があるように思える。見栄えが良い写真を提供してもらった店舗を積極的に選

んでしまうと、既にSNSで情報発信を行っている店舗の方がはしチョコに投稿されやすくなってしまいます。また、募集をするのであれば申し出を断る方法もあらかじめ決めておく必要があると思った。

【陰山委員】

毎日決まった場所から撮影できる者が、その場所から富士山が見えるかどうかを定期的に発信するのはどうか。

【齋藤委員】

定期的な発信であればストーリーで投稿する方がよいかと思う。ただ、誰が撮影するかという点が課題になる。

【赤星会長】

委員からいただいた意見を踏まえて、第2回の部会で検討させていただく。

4 報告事項

(1) 各部会から

特になし

(2) 各委員から

【榎本委員】

J Aに関する報告となるが、幸町にあるJ A東京みらい本店の駐車場で移動販売を行っている。実施時間は午前9時30分から午前10時30分まで。

【赤星会長】

アルゴでクッキーの販売を始めた。東久留米で収穫したさつまいもやブルーベリーをアルゴで加工し、菓子工房ピュアが製造した物となる。

【野崎副会長】

ユニクロ小平新青梅街道店にて、野菜の出張販売を土曜日に月2回実施している。実施時間は午前11時から午後3時まで。

ユニクロ側が地域の連携を掲げているので、他の方々やスタートアップラボの創業の場としての活用も考えていただければと思う。

【陰山委員】

くるくるチャンネル運営委員会より、1月18日にくるくるチャンネルフェスタを市民プラザで実施予定である。内容としてはくるくるチャンネルに登録している団体が展示やワークショップ、ステージの出演を行うものとなる。

(3) 事務局から

【事務局】

1月10日に第22回東久留米七福神めぐりを実施予定である。

5 閉 会

【事務局】

次回の開催は2月ごろを予定している。

【赤星会長】

最後に、市民部長よりご挨拶いただきたい。

【片山市民部長】

委員の皆様の地域に対する熱い思いから、来年度に向けた良い形のものが作れるように感じた。我々事務局も地域の発展に向けて最大限力を発揮するので、委員の皆様のお力をお借りしながら、形になってきているものをより良い形で実施し、一つでも多くのイベントを実現することで、賑わいのあるまちにしていければと思う。今後ともよろしく願いたい。

【飯田産業政策課長】

これにて、第3回東久留米市地域産業推進協議会を閉会としたい。